



走り抜け 104年のゴールまで！
江幌小学校 最後の運動会

かみふらの 議会だより

第 83 号

2014 年 7 月 25 日発行
発行 上富良野町議会

- 第 2 回定例会 各会計補正予算を原案可決・・・・・・・・・・P2
- まちづくりを問う!! 一般質問 3 名の議員が質問!・・・・P5
- 委員会のうごき 議会運営委員会 議員定数と報酬のありかたを協議!!・・P9
- みんなの声 「町のひと」にインタビュー!・・・・・・P12

バー制度の 向けてシステムを整備



6月17日と18日の2日間に6月定例会を開催しました。
各会計の補正予算や上富良野町税条例の一部を改正する条例などを審議し可決しました。
また、3名の議員が町長と教育長へ質問をしました。

○十勝岳ヒルクライム、

全国フットパスフォーラム事業に128万円の補助

○マイナンバー「社会保障・税番号制度」の

導入に向けたシステム整備に1千900万円

平成25年度の決算確定に伴う繰越金や各保育所入所児の確定、第20号橋架替による損失防止調査費や用地取得費など、第21号橋架替による軟弱地盤調査費や用地取得費などの追加、社会保障・税番号制度導入に向けたシステムの整備、かみふらの十勝岳ヒルクライム及び全国フットパスフォーラム事業への補助など1億374万5千円を増額する一般会計の補正予算を可決しました。

■ 6月補正予算の状況 ■

会 計 名	補 正 額	総 予 算 額
一 般 会 計	1 億 374 万 5 千 円	71 億 8974 万 5 千 円
国民健康保険特別会計	190 万円	13 億 6361 万 9 千 円
後期高齢者医療特別会計	35 万 5 千 円	1 億 3403 万 7 千 円
介護保険特別会計	1555 万 4 千 円	8 億 5019 万 2 千 円
簡易水道事業特別会計	86 万 4 千 円	6933 万 3 千 円
公共下水道事業特別会計	164 万 2 千 円	4 億 9862 万 6 千 円
ラベンダーハイツ事業特別会計	82 万 3 千 円	2 億 9958 万 9 千 円

質 疑

○マイナンバー制度

問 悪質なウイルスなどで情報が漏れた場合、最終的にはどこがその管理や責任を取るのか。

答 最終責任は当然ながら国や自治体となる。情報管理は個人のものは個人の番号なので、秘密は自分で守らなければならない。町としても保護はしていく。

問 制度の導入で住民にはどのようなメリットがあるのか。

答 各種手当の申請など複雑な手続きが簡素化し、便利になると想定している。

問 住基カードとの関わりはどのようになるのか。

答 現在の住基カードは28年1月まで発行でき、新しい個人番号カードは28年1月から発行される。住基カードはもともと10年間の有効期限があるので、今発行している分の有効期限までは使用できる。

○防災対策

問 防災無線で非常時に備えた放送を行ったが、個別受信機でちゃんと受信できたかなどの調査は行ったのか。

答 町の基地局を通じて放送を行った。音量は緊急放送なので大きく放送する仕組みになっており、町で制御はできない。

また、屋外もハウリングなどで非常に聞きづらいとの声があったので、防災無線を導入した業者に調整などが可能なのか問い合わせをしている。

26 年度 補正予算

一般 会計

マイナン 導入に

主 な 事 業



20 号橋

■第 21 号橋架替え 950 万 7 千円

ホロベツナイ川の北 22 号東道路に架かる 21 号橋が架け替えられます。軟弱地盤調査費、用地取得費、用地補償費など

■第 20 号橋架替え 1370 万円

スッカクシ富良野川の北 22 号東道路に架かる 20 号橋が架け替えられます。損失防止調査費、用地取得費、用地補償費など



21 号橋



ヒルクライム

■全国フットパスフォーラム事業 53 万円

9 月 20・21 日に町内で開催される事業のコース整備や PR 活動費など

■かみふらの十勝岳ヒルクライム

75 万円

7 月 6 日に開催された事業の競技用具の整備など開催に係る経費の一部を補助



千望峠フットパス



おしえて !!

『社会保障・税番号制度』ってなに？

マイナンバー制度ともいわれ、平成 28 年 1 月から運用が開始される予定。全国民一人ひとりに番号が割り振られ、現在、別々の年金、医療、介護などの社会保障制度の番号が個人に付され統合される。

意見書を国などに

提出しました

消費税の増税に反対する意見書

消費税率 3% の引き上げで、道民と町民のくらし・営業などに悪影響が出てきています。安倍政権は 12 月までに消費税率を 10% にする「最終決断」をしようとしており、国民の所得が伸びない中で消費税率のさらなる引き上げは、消費をますます冷え込ませ、景気の悪化、道民・町民生活と地域経済を破壊することは必至であるため、さらなる消費税増税を行わないことを求める意見書です。

ウイルス性肝炎患者に対する

医療費助成の拡充を求める意見書

ウイルス性肝炎・肝がんにかかる医療費助成制度を創成することや、身体障害者福祉法上で肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度とすることを求める意見書です。

「手話言語法（仮称）」の

制定を求める意見書

手話は聴覚障害者にとって日常生活や社会生活を営むうえで大切なコミュニケーション手段です。

これらの手話言語に対する権利を保障するためにも専門の法律として「手話言語法（仮称）」の制定を強く求める意見書です。

補正予算

各特別会計補正予算を可決

平成25年度各特別会計の決算確定に伴う繰越金と繰入金を一般会計へ繰り出す補正予算を可決しました。

また、国民健康保険特別会計では国保連合会が保険者の委託を受けて「特定健診・特定保健指導」や「医療（後期高齢者医療含む）」などの情報を保険者に情報提供するための国保データベースシステムの更新事業費を増額する補正予算を可決しました。

条例改正

町税条例の一部を改正

国の平成26年度の税制改正により、軽自動車にかかる小型特殊自動車（農耕用のものを含む）の標準税率については定めがなく、地方税法第44条第3項により「他の軽自動車の税率と均衡を失しないよう定められている」ことから、上富良野町税条例の一部を次のように改正し、平成27年4月1日から施行します。

○小型特殊自動車 農作業用のもの
現行 1千600円

改正後 2千円（1.25倍）

○小型特殊自動車 その他のもの
現行 4千700円

改正後 5千900円（1.25倍）

※富良野市、中富良野町なども当町と同額です。

第2回臨時会（6月30日開催）

○がんばる地域交付金の一次配分などにより、一般会計予算9千485万6千円を増額しました。

新町3丁目2条通りなど5路線の町道改良舗装事業と改良に伴う水道布設替え、郡部の無線での超高速ブロードバンド環境の整備事業に合計1億7千42万4千円のがんばる地域交付金（地域活性化・効果実感臨時給付金）を充当しました。

また、6月の町民税賦課確定により臨時福祉給付金の対象者が増員となったため、給付金1千215万円を増額し、上中整備事業に向けて地質調査が必要になったため、46万1千円を増額しました。
○超高速ブロードバンド環境整備工事の請負契約を締結しました。

市街地以外の無線での超高速ブロードバンド整備の工事を2億1千600万円で契約することを可決しました。

◆質疑から◆

問 専門的な工事となり、工程ごとの検査などはどのように行うのか。

答 設計業者が管理受託しており、役場の担当者のほか、管理受託業者とともに点検し、工事を進めていく。

○学校給食センター調理機器取得の契約を締結しました。

学校給食センターの調理機器（球根皮剥き機1台、配送用コンテナ12台、冷凍冷蔵庫1台）を885万6千円で購入する契約を可決しました。

◆質疑から◆

問 調理機器それぞれの金額と更新前の機器の使用年数は。

答 皮剥き機が43万2千円で18年使用、コンテナは77万6千円で34〜17年使用、冷凍冷蔵庫は64万8千円で17年使用した。

人事案件



谷 忠議員（69歳）
昭和19年生
基線北22号

平成26年7月19日に任期が満了する議会推薦の農業委員会委員に谷 忠議員を推薦することを可決しました。

農業委員は公選による委員9名と農協・農業共済組合・土地改良区・議会から推薦される4名の13名で構成されています。

ズバリ

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。



まちづくりを問う！

ページ	質問議員	質問事項
6	村上 和子 議員	1 子どもの医療費助成対象範囲を中学生まで拡大しては 2 自主防災組織制度の改正と防災に耐えるライフラインの基本的な整備を 3 各学校の図書室に専任の司書配置を 4 放課後プラン事業として、放課後クラブ・放課後スクール・みんなで遊ぼう教室などの一元化と見直しを
7	米沢 義英 議員	1 介護保険計画について 2 子どもの医療費無料化について 3 除雪サービスについて 4 定住化対策について 5 いじめ予防対策について 6 社会教育総合センターの整備について
8	金子 益三 議員	1 町内一斉クリーンキャンペーンの日制定について 2 超高速ブロードバンド通信網整備 のさらなる活用について 3 庁舎におけるペーパーレス化のためのタブレット端末導入について



村上 和子 議員

療 育

子どもの医療費助成を 中学生までに 可能であれば 時間をおかず検討したい

村上議員

子育て世帯で

は医療費が家計の負担と

なっており、町

独自の支援策と

して就学前児童

の医療費全額助

成している。ま

た、4月からの

消費税の増税に

より、市町村の

交付税が増える

と思われ、中学

生まで医療費の

助成を拡大して

はどうか。



町で行っている乳幼児健診

向山町長 総合的な判断のもと子育て支援策を講

災 防

26年度で補助が終了する 自主防災組織の制度改正は 27年度以降も防災士の 養成を図っていく

村上議員

各住民会に2

名の防災士を配置するた

めの資格取得費用の補助

が26年度で終了する。27

年度以降の制度改正はど

のように考えているのか。

また、ライフラインの

根幹である水道も事故や

災害に強いシステムの構

築が必要では。

向山町長

27年度以降も

引き続き防災士の養成を

図っていく。また、水道

については更新済みの配

水管などで耐震構造の管

を使用している。災害に

強いシステムの充実は重

要であり、これからも防

災対策には十分努力して

いく。

村上議員

補助開始から

じてきた。財政状況も見
極めた中で、どのような
対応が可能なのか、時間
をおかずに子ども・子育て

て支援事業計画の中に反
映できるように検討を進
めたい。

3年が経ち、防災士が体
調を崩すなど不都合が出
てきている。住民会が判
断した場合は2名以上を
配置できるように考えら
れないか。また、地区を
決めて防災訓練をするよ
うに指導できないか。

向山町長

アクシデント

を考慮し、3名以上を備

えることは大切で27年度

の補助の中で取り組むこ

とは大事だと考えている。

また、年度ごとに地域

を決めて防災訓練の指導

などを行うことは有効な

ことだと思う。工夫をし

ながら防災意識が全町で

高まるように取り組んで

いく。

教 育

放課後プラン事業を 見直して指導員の補充を 条例を制定し 新制度の事業を提供する

村上議員

全ての子ども

が安全で安心に過ごせる

居場所づくりとして放課

後プラン事業が始まった。

利用児童が100人を超え、

特別支援教育を受けてい

る児童も含まれており、

18名の指導員では不足で

はないか。人材の補充と

抜本的な見直しを。

服部教育長

5月の1日

平均利用人数は51.5人、放

課後スクールが39.3人と



西小の放課後クラブ

なっている。指導者は他
の仕事と兼ねている方も
おり、体制を確保するた
め、現在も募集している。

また、4月30日に就学

前に保育を利用していた

子どもが就学後も安全で

安心な居場所として利用

できるように放課後児童

クラブの職員数や設備、

児童集団の規模などの基

準が定められた。町では

この基準をもとに今年中

に条例を定め、子育て支

援と連携した新制度によ

る放課後プラン事業を提

供する。

その他の質問

Q 学校図書室に専任
の司書配置を。

A 当町では司書教諭

の特別な定数配置がな

い。今後の研究課題で



米沢 義英 議員

介護 特別養護老人ホームの 増床計画はない

米沢議員 不足している特別養護老人ホームの増床やグループホームの整備計画は。

また、要支援の訪問、

通所介護のサービスが専門職から地域のボランティアなどの活用ができるかとされている。町の体制は。

向山町長 要支援1、

2の訪問介護や通所介護については、今回の改正で市町村が地域の多様な主体を活用して地域の実情に応じた取



特別養護老人ホーム

り組みができるように改正され、その中で、既存介護事業所のサービスも利用が可能となつていくことから、引き続き専門

的なサービスを提供していくことが重要であり、これまでのサービスが低下することの無いように進めたい。

団体と協議を進めたい。介護保険施設などの整備計画については、高齢者が増えており、特別養護老人ホームの増床は考えていないが、グループホームなどの施設整備については。次期介護計画に反映できるように検討したい。

医療 中学生までの 医療費の無料化を 方向付けができるように 検討したい

米沢議員 中学校生までの医療費の無料化拡大について、総合的に判断し検討したいと曖昧な答弁をしている。どのようにに検討されているのか。

での医療費の無料化は、子育て支援の一つとして否定するものではないものの、子育て支援あるい

向山町長 幼児の医療費助成は、北海道

の医療給付事業と連携し、町独自の給付措置を行っている。町独自として様々な子育て支援策を実施しており、中学生ま



子育て支援センターで1歳のお誕生会

は定住対策などを総合的に検討し、財政状況も見極めた中で、どのような取り組みが今後のまちづくりを行ううえで重要かを見定め、また、このた

びの子ども・子育て支援計画策定時のアンケート調査結果なども十分に参考としながら、早期に方向付けができるように検討をしたい。

施設 社会教育総合センター トイレの改修を 洋式トイレを増設したい

米沢議員 社教センターは高齢者の方も多く利用している。しかし、和式のトイレに対して洋式のトイレが少ないとの声が聞かれ、今後の対応は。

となつていく。昨今、高齢化の進展により、利用がしやすい洋式を使用する方が増えており、利用者ニーズに応えるよう、教育委員会では2階トイレの洋式化を図り、1階に洋式トイレを増設する検討を進めている。

服部教育長 近年は個人

住宅や公共施設でも洋式トイレの普及が進み、和式トイレの比率を超えるようになっていく。社教センターには、一般のトイレが男・女それぞれを1か所と数えると、1階に4か所、2階に2か所あり、1階は大便器数20基のうち4基が洋式、2階は5基のうち洋式がゼロとなっている。全体では25基のうち4基が洋式



社会教育総合センター



金子 益三 議員

町で「清掃の日」を 制定する考えは無いか 各地域での自主的な 取り組みを支援していく

金子議員 本年、シーニックバイウエイ大雪・富良野ルートが声掛けをして始まった町内のゴミ拾い活動が10年目を迎え、参加団体も20団体になり、参加者も150人を超える規模となった。これを機に町内でゴミ拾いなどの「清掃の日」を制定し、住民会等と協働して行っていくかがか。

向山町長 環境美化を目的とした地域のボランティア活動は年々気運の

高まりを見せている。町が主体ではなく自主的な環境美化活動こそが協働のまちづくりと考える。自主的な活動を尊重し、側面から支援していく。時期を定める仕組みは馴染みにくいいため制度化は難しい。

金子議員 「世界環境デー」もあり観光シーズン前に町内で一斉に行うと効果があると考えている。

向山町長 国内外で環境を守る気運を高める活動

は大切であり、観光面でも重要であると考えているが、農村部など繁忙期における活動状況を鑑みると、特定の日を定めることは難しいと考える。

金子議員 様々な世代と一緒に活動することによって愛郷精神も養えて、情操教育にもつながると思う。

達も含めて地域総出で取り組みをしている。

金子議員 県や、市町単位また企業なども率先して行っている先進事例などもあるが。

向山町長 既に、我が町では導入時期は終わって次の段階に移行していると考えている。町が誘導するのではなくさらに上を目指していく状況を応援したい。



ゴミゼロキャンペーンのようす

情報 超高速ブロードバンド 通信網のさらなる活用を 整備を進める

金子議員 町として超高速ブロードバンドの光ケーブルによる有線サービスエリア外を無線方式によってカバーする計画がされている。しかし、投資コストも膨大なので、WiFiフリースポットなど、さらなる活用を図ることが望ましいと考えるがどう対応していくか。

向山町長 今回の事業は、インターネット環境改善のみならず防災無線事業などのデジタル化の対応、ネットや携帯電話の通じない地域のLANとして活用のほか、観光客へのWiFiフリースポットなどの提供などへの活用も検討している。

金子議員 通信機器の進歩によって通信各社が同等のサービス形態を行う可能性が高い中で、2億円以上の投資効果はどのように出していくか。

向山町長 ハード、ソフトも含め通信環境、通信機器の整備、技術革新は日進月歩であり、市街地を除く情報環境・通信環境を整える事業を進めるよう当時の最善策を図った。双方向の情報共有や防災情報の提供など新しい情報伝達の仕組みを想定している。

金子議員 観光客に喜ばれるフリースポットの創設は。

向山町長 観光客のためにも民間サービスが及ばないところをできるだけ整備をしてサービス提供につなげていきたい。

その他の質問

Q タブレット端末の導入を。
A 随時、導入を進める。

議会運営委員会

『議員定数と報酬』の今後を協議！

本町議会議員の27年8月の任期満了まで残すところ1年余りとなりました。

人口減少と高齢化が進む中、地方議会の役割はますます重要となり、住民の福祉と生活基盤の充実を目指す中で、住民の期待に応える議会としての在り方を協議し、住民の代表としての役割責任を果たしていくためにも、色々な角度から方向性を出すことになりました。今後の協議内容なども『議会だより』で報告していきます。

そして、この協議を行うために町民の皆さんの意見なども大いに取り入れていきたいと考えています。そこで、町内9か所に設置している「町民ポスト」に議会への意見を記入できる用紙を設置します。議会に対する意見や、定数、報酬に関する率直な意見をお待ちしています。

●町民ポスト設置箇所

- ・ 公共施設（役場庁舎、かみん、社教センター、公民館、町立病院）
 - ・ 上富良野駅
 - ・ 郵便局
 - ・ コミュニティプラザ中茶屋
 - ・ JAふらの上富良野支所
- 設置期間：
8月1日（金）から12月26日（金）まで

○議会構成

現在の上富良野町議会議員定数は14名で、任期は4年です。この14名を2つの常任委員会に分けて活動し、常任委員会の他にも議会運営委員会や議会広報特別委員会を設置し、それぞれ6人ずつが所属しています。また、富良野広域連合議会議員に3名を選出し、民生委員推薦会や都市計画審議会、表彰審査委員会にも委員を選出しています。

○議員は何名必要なのか？

- 1 地方自治法の改正により、現在は議会独自で自由に決定できるようになりました。しかし、定数を決める明確な根拠は何もなく、全国、全道の町村の類似町村（人口数、財政規模など）を参考に決定められている傾向にあります。
- 2 議会に議員が何名いることが望ましいのか決める決定的な物差しがありません。
- 3 議員は何人の住民を代表すれば望ましいのか、判断する基準は何もありません。

○議員定数と構成の変遷

昭和41年3月	・ 町長提案で議員定数削減（法定数26名から20名に） ・ 条例が上程され可決。
昭和62年3月	・ 議会委員会条例の改正 ・ 4常任委員会から3常任委員会に
平成6年12月	・ 議員定数削減（2名減）の条例を議員発議で上程。しかし、否決となる。
平成8年6月	・ 本会議で議員定数調査特別委員会を設置（議長を除く19名）
平成9年12月	・ 議員定数調査特別委員会で20名が適正と決定される。
平成10年12月	・ 議員定数削減（2名減）の条例を議員発議で上程。しかし、否決となる。
平成14年4月8日	・ 議員協議会を3回開催し、協議を行う。
平成14年9月	・ 議員定数削減（2名減）の条例を議員発議で上程。可決される。
平成18年9月	・ 議員定数削減（6名減）の条例を議員発議で上程。しかし、否決となる。 ・ 議員定数削減（4名減）の条例を議員発議で上程。可決される。 ・ 平成19年8月から3常任委員会を2常任委員会に ・ 現在の議会体制に

○報酬

1 報酬は各自治体で決めてきました。しかし、その根拠は必ずしもはっきりしていません。

2 地方自治法により「議員報酬、費用弁償及び期末手当の額、並びにその支給方法は条例で定めなければならない」とされています。

3 一般のサラリーマンが給与として受ける生活給とは異なり、仕事に対しての金銭が支払われています。

4 議員は非常勤職員と同じ位置付けであるため、勤務実態に応じた日割り支給が基本となります。しかし、議員の報酬は月額で支給されています。

○報酬はどのように決めるのか？

1 首長が特別職報酬審議会を設置し、首長の諮問によって検討を行い、答申を受けてその結果を議会が承認し、条例化して定めています。

2 報酬を決める基準となるものは何もなく、類似町村を参考に審議していることが多いです。

市町村ともに人口規模の大きい自治体ほど報酬額が高く、差がみられ、都道府県同士で14倍、市で25倍、町村で3倍の差があります。

○類似町村の報酬など (H25.7.1 現在)

町名	H25.3 人口(人)	議員 定数 (人)	議員1人 に対する 人口(人)	報酬(円)			期末 手当 (%)	政務活動費 (月額換算)	町村長給料に対する比率		
				議長	副議長	議員			議長	副議長	議員
全国				285,636	231,256	209,661			42.5	34.4	31.2
全道				259,653	207,660	175,274			37.5	34.4	25.3
岩内町	14,319	16	895	282,000	226,000	185,000	395		41.2	33.0	27.0
長沼町	11,689	14	835	291,558	231,890	188,835	385	8,000	41.1	32.7	26.6
栗山町	13,070	13	1,005	300,000	239,000	196,000	390	8,000	42.5	33.8	27.7
美瑛町	10,747	14	768	278,000	220,000	181,000	395		35.6	28.2	23.2
斜里町	12,476	14	891	291,000	234,000	190,000	395		37.8	30.4	24.7
日高町	13,341	15	889	252,000	207,000	189,000	300		35.0	28.8	26.3
浦河町	13,608	18	756	255,000	203,000	175,000	345		36.4	29.0	25.0
厚岸町	10,364	13	797	277,400	222,300	183,000	395		35.0	28.1	23.1
8町平均	12,452	14.6	855	278,370	222,899	185,979	375		38.08	30.5	25.5
上富良野町	11,586	14	828	275,000	205,000	170,000	350		38.2	28.5	23.6

○議会改革のこれまでのうごき

改革内容		削減効果額	
●費用弁償の縮減 (平成12年7月1日) 日額 1千500円→1千円 ●費用弁償の廃止 (平成18年4月1日) 日額 1千円→0円		42万5千円 85万円	
●月額議員報酬の削減 (平成15年7月1日) 議長 28万円→27万5千円 副議長 21万1千円→20万5千円 委員長 18万9千円→18万5千円 委員 17万5千円→17万円		104万4千円	
●議員手当の削減 (平成15年7月1日) 加算率の廃止 15%→0% ●議員手当の削減 (平成17年7月1日) 年2回 44か月→3.9か月 ●議員手当の縮減 (平成18年4月1日) 年2回 3.9か月→3.5か月	(H15) 112万5千円 (H16) 215万2千円 130万4千円 163万円		
●議員定数の削減 (平成15年8月選挙) 20名→18名 ●議員定数の削減 (平成19年8月選挙) 18名→14名	565万7千円 174万2千円		
●その他 H12からの削減効果額合計	355万8千円 2千592万9千円		
○議会費決算額 (H25)	8千142万9千792円 6千193万7千円		

議会の窓



16日	議会広報特別委員会
14日	議会運営委員会
11日	議会広報特別委員会
7月3日	全道議会議員研修会・ 先進事例調査（～4日）
30日	議会運営委員会 第2回臨時会
18日	議会広報特別委員会 第2回定例会（2日目）
17日	議会運営委員会 第2回定例会（1日目）
12日	全員協議会
11日	議会運営委員会
10日	総務産建常任委員会
9日	厚生文教常任委員会
4日	厚生文教常任委員会
6月2日	議会運営委員会
13日	議会運営委員会
5月8日	厚生文教常任委員会

●先進事例調査



7月3日に気象庁札幌管区気象台にて、上富良野関係の地震・火山などの観測体制、天気予報の関連など研修を行い、実際の観測している事務所やシステムなどの視察を行いました。特に十勝岳火山観測においては、監視カメラやGPSなど各種の測量機器により常時観測されている内容について理解を深めてきました。

●全道議員研修会



7月4日に札幌市で開催された北海道町村議会議長会主催の研修会に議員14名が参加し、法政大学法学部教授 廣瀬 克哉氏の「議会改革のこれから」、読売新聞特別編集委員長 橋本 五郎氏の「これからの日本の政治」の2つの講演を受講し、議会改革や政治の状況について理解を深めてきました。

●○ おしらせ ○●

～議会を傍聴してみませんか？～

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

9月17日（水）・18日（木）です！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議事堂までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの傍聴をお待ちしています！

■おわび

議会だより第82号（平成26年4月25日発行）15頁の一般質問の「空き地・空き店舗対策」の質問で空き店舗ではない商店街の写真を掲載し、商工振興に全力で努力されている方々に不快な思いをさせてしまいました。商店主及び町民の皆様方にご迷惑をおかけしましたことを心からおわび申し上げます。

「町のひと」にインタビュー



上富良野町に移住された方々をお訪ねして3回目になります。今回は、リビングの窓に広がる十勝岳を壁絵のように生活の中に取り込んでいる。そんなお宅にお住いの前原 勝、久恵さんとのお話を掲載させていただきます。



前原 勝さん、久恵さん
(本町6丁目)

温暖な気候の土地から

一転して、冬には厳寒なこの地を終の棲家にと決めたのは、以前から10回以上訪れてすばらしい大自然に魅了されたから。

私の理想は、城山三郎(JR創設者)の言葉にある三つの「お」です。

一つは「音の静けさ」、二つは「男らしさ」、三つめは「己らしさ」で大自然と共生し地域社会と調和を図りながら私の理想の生活に近づきたい。

今までお世話になった友達などが本州から毎年遊びにきます。ここには山があり、自然があり、景観が良く、鳥のさえずりや自然のおいなどがあり、五感がさえて都会ではなかったものがある。地域は寄り合い、助け合いなど互助の精神が強い。以前はあまり聞いたことがなく新年会すらありませんでした。

この町での生活はそれ

ぞれゴルフや水泳、ガーデニングなど、趣味を楽しんでいます。共通の趣味はカラオケとフットパスです。私は、広島県人会北海道支部の会長として、妻は成年後見人の受講を修了し、次のステップを考えているはずですが、

町について思うことは

きれいな店や施設が少ないことで困っています。たとえばお客様が来た時など食事に連れて行く店が少ない、特に車いすや

年配の方への配慮が足りないように思います。

地域性については、何事もないのが良いと言う人が多いように感じます。挑戦することによっていろいろな町をめざしてほしいと思います。特に自然をいかした経済分野が遅れていないかなあ。

最後に・・・

前原 勝さんの理想の二つ目の言葉「男らしさ」で思い出した言葉があります。25年ほど前、日新居住の(故)片倉 喜一郎さんはNHKの取材で「十勝岳は、色男の様なもんだ。めんどろな事にもなるけど、この山からみんな離れられないんだ。」窓の外に十勝岳は、こんなに続く町民の想いを受け止めてくれるのだろうか。

(インタビュー・・・

佐川委員)



あとがき

■若葉から青葉へ変わろうとするこの季節は、心地よい風が草花の香りを乗せながら吹き抜けてゆく、とても大好きな時でもある。

夏至が過ぎ、これからは夏の盛りに向かい、日に日に暑さが増していきます。本格的な夏を前に強まるのは夏の暑さだけではありません。

■数の力で時の政権は国民の安心を不安に変える増税・医療・介護法の改悪、政治介入を許す教育委員会改悪、集团的自衛権の行使に向けた動きなど、国民や町民が願う政治とかけ離れたことを進めようとしているように思えます。

■町にも子育てや老後の生活に不安を覚える人などもたくさんいます。町民の思いをしつかりと受け止められる議員として精進しなければと思う日々です。

(米沢 記)

議会広報特別委員会



委員長

村上 和子

副委員長

中澤 良隆

委員

佐川 典子

米沢 義英

徳武 良弘

中村 有秀